

実施課題名 課題A:各種観測データの一元化

課題責任機関: 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

事業責任者(説明者): 上田 英樹

火山研究推進センター 主任研究員

地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長

防災科学技術研究所の火山観測施設（全国の16火山に55カ所）

富士山

山梨県

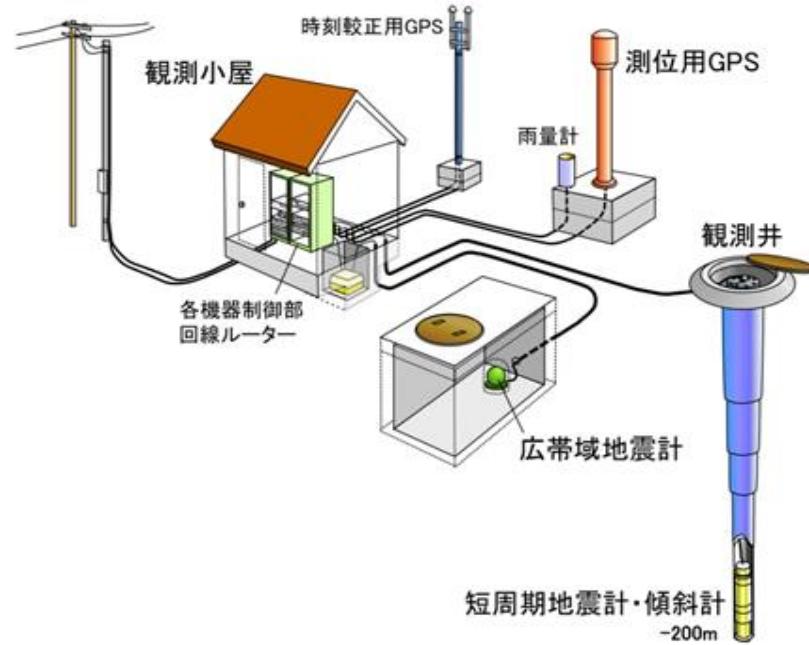
宝永火口

Google earth
Image LandSat
© 2016 ZEFIR
Data SIO, NOAA

静岡県



火山観測施設に設置された観測機器



短周期地震計

マグマが移動時に周辺岩盤を破壊することにより発生する微小地震を検知する装置。検知した微小地震は、マグマの移動場所の推定に活用。



傾斜計

マグマの上昇量の推定するため、マグマの上昇による火山本体の傾きを測定する装置。



GNSS (GPS)

火山内部のマグマがどのくらい膨脹しているかを推定するため、火山の地表の動き(地殻変動)を測定する装置。



受信機



広帯域地震計

噴火活動の推移や噴火の規模を推定するため、噴火による長周期の振動を検出するための装置。

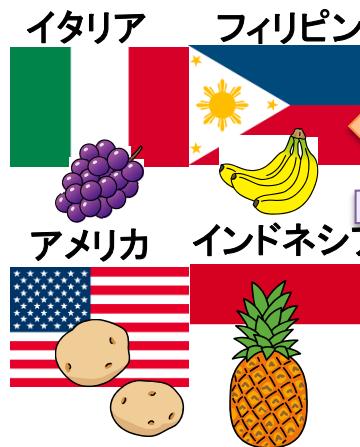


各種観測データ



各種観測データの一元化

海外の研究機関



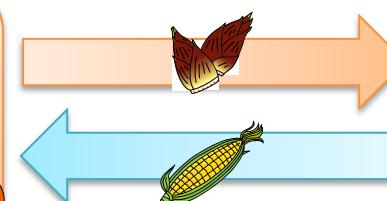
防災科学技術
研究所



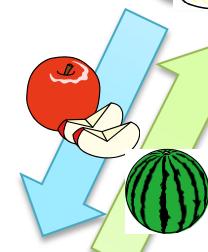
防災の研究



データ公開



火山監視



噴火警報など
の防災情報

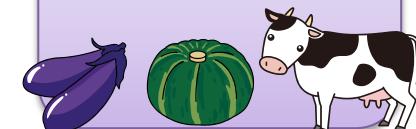


國民

大学、他の
研究機関



大学、他の
研究機関



各種観測データを活用した研究開発

オープンデータ

課題A

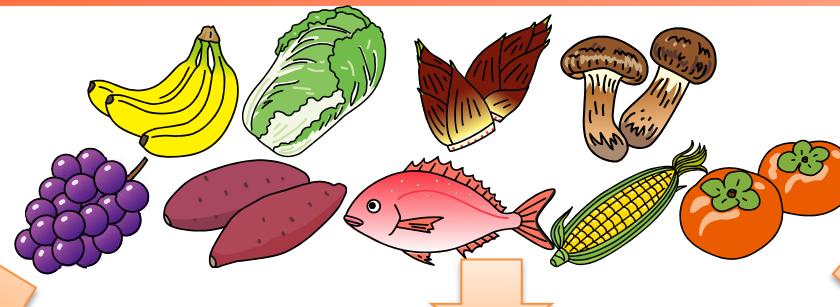
レシピ



噴火事象系統樹

課題B, C

火山災害による被害の軽減



専門家



火山専門家の育成

火山研究人材育成事業

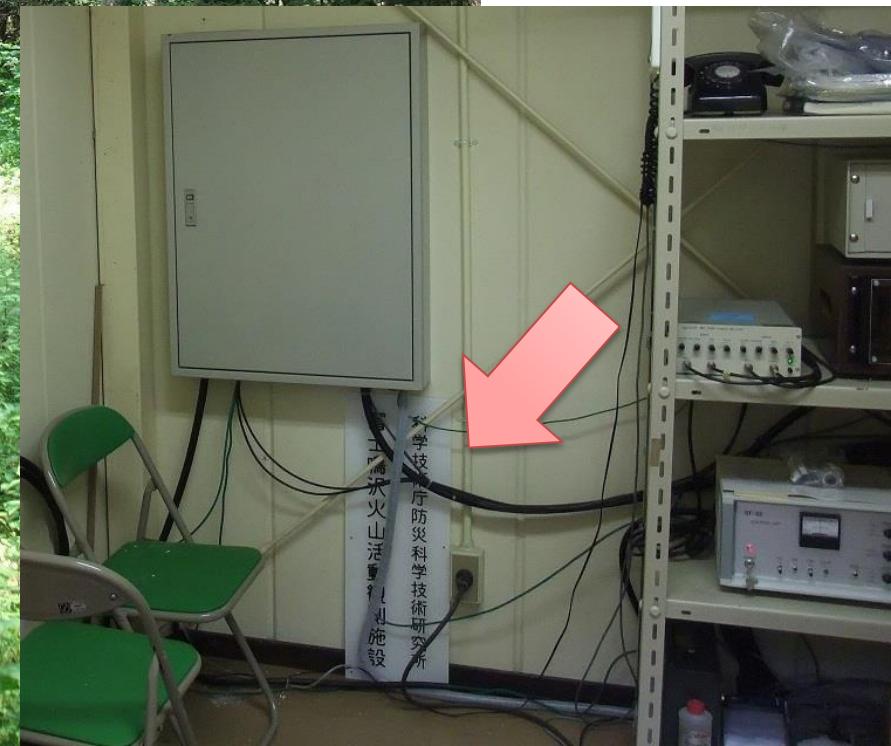
サービス



情報提供方法の研究

課題D-3

富士鳴沢火山観測施設（1990年度設置 山梨県鳴沢村）



1990年以降の変化

富士鳴沢火山観測施設
(1990年度設置)

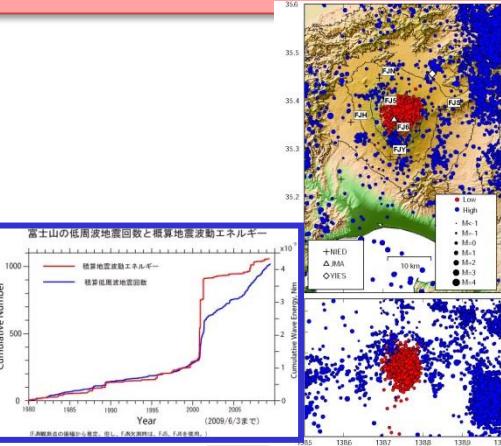


1990～95年
雲仙普賢岳噴火

2000年
有珠山噴火

2000年
三宅島噴火

富士山の深部低周波地
震の活発化(2000年)

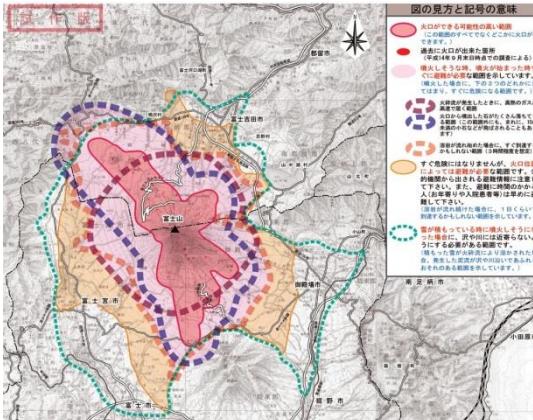


約10年で
大きな変化

富士山観測体制強化
富士第6火山観測施設
(2003年度設置)



富士山のハザードマップ
整備(2001～04年)



次世代火山研
究・人材育成総
合プロジェクト

2015年
口永良部島噴火

2014年
御嶽山噴火

2011年
霧島山新燃岳噴火

次の10年